



母子生活支援施設 室見寮だより

令和2年6月発行
室見寮/平川・岩崎
早良区小田部6丁目1 2-4



皆さまいかがお過ごしですか。コロナウィルス感染の不安を抱えながらの生活、とてもストレスがかかりますね。この大変な日常の中でも、医療や介護、スーパー、配送業など、私たちの生活を支えて下さる方々へ改めて感謝の気持ちを表したいと思えます。

子ども達の学校が休校となり、自宅で親子で過ごす時間が増えました。室見寮では親子がストレスを抱え込まないように職員が常に目を配っています。母親が仕事で不在にする家庭は、保育室や学習室で子ども達をお預かりし、母親が在宅の場合でもストレスが高いようならば臨機応変に子どものお預かりを提案しています。

5/14に緊急事態宣言が解除され、6月より学校も始まりました。感染の第二波、第三波も予想され、まだまだ気を緩めることはできません。施設でも感染対策を継続しつつ、親子の見守り、支援に取り組んでいきます。



生活や育児で困りごとはありませんか。室見寮には保育士・社会福祉士・心理士の資格を持った職員が勤務しています。地域の皆様からのご相談も受け付けています。



毎年、母の日のプレゼント作りを学習室の子ども達が行っています。今年は緊急事態宣言中でしたので諦めかけていましたが、宣言解除となり5月下旬に実施しました。

今年は巾着と写真たてを製作。初めて針を持つ子が数人いて、糸通しから教えることになり・・・ハプニングもありながらも、全員完成することができ、お母さんに渡すことができました。子どもが初めて針を持って作った巾着、お母さんたちも喜んでくれました。

コロナウィルスの影響で、寮内の行事のほとんどが中止になっています。楽しみがなくなった日々の中、企業や行政、ロータリークラブの皆様から温かいお気持ちの品物を受け、入所者も大変喜んでいきます。改めて御礼申し上げます。

ブルボン
九州納豆組合
福岡ロータリークラブ
(株)わっはっは
カルビー
(株)ダスキンサービス九州
福岡市

室見寮について



昭和25年に現在の地下鉄室見駅付近の河川敷に引揚げ者有子未亡人住宅が建設され、当法人が福岡県より経営を任されました。

昭和61年に小田部に移転したのを機に50世帯が生活できる構造に建て替えとなりました。現在は生活上の困難を抱えた母子が安心して生活できる児童福祉施設として機能しています。